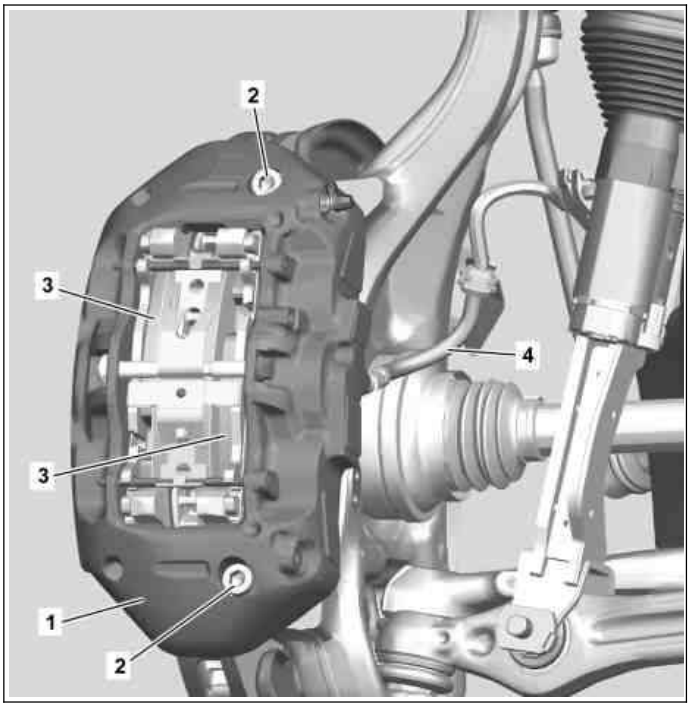
モデル 290
コード B06 装備（ブレーキ・キャリパ（グレー塗装））
コード B07 非装備（セラミック･ブレーキ･システム）
モデル 290
コード U69 装備（AMGブレーキキャリパ、イエロー塗装）
コード B07 非装備（セラミック･ブレーキ･システム）
モデル 290
コード U70 装備（ブレーキ・キャリパ（赤色塗装））
コード B07 非装備（セラミック･ブレーキ･システム）

図は車両左側

1 ブレーキキャリパ
2 ボルト
3 ブレーキパッド
4 ブレーキホース



P42.10-3260-12

	修理作業が終了してからの初回の走行では、ブレーキ･ペダルを初めて踏み込む時は、制動効果がまったくないので、事故が発生するれるまで、**危険**があります。	車両を走行させる前に、ブレーキ・システム内に圧力が形成・保持されるまで、ブレーキ・ペダルを何度も踏み込みます。	AS42.50-Z-0002-01A
⚠ 注意	ブレーキ･オイルは誤って飲用したり、皮フに付着したり、または眼に入ったりすると非常に**危険**です。	ブレーキ・オイルは、必ずブレーキ・オイルと明記された専用の容器に注入します。ブレーキ・オイルの取扱い時には、保護衣類および保護眼鏡を着用します。	AS42.50-Z-0001-01A
	複合材ブレーキ・ディスクの取扱い、輸送および保管に関する注意事項		AH42.10-P-9406-12LF
	セルフロッキング･ナットおよびボルトに関する注意事項		AH00.00-N-0001-01A
	ブレーキ･システムの修理に関する注意事項		AH42.00-P-0003-01A
	ブレーキ･オイルに関する注意事項		AH42.50-P-0001-01A
	セーフティ関連の構成部品に関する注意事項		AH00.00-Z-0019-01A
	脱着		
1	ブレーキパッド (3) を取り外します。		AR42.10-P-1610FRX
2	コネクタ（右フロントブレーキパッド摩耗センサ）をブレーキキャリパ (1) から取り外します。	右側のブレーキキャリパ (1) を取り外す場合だけです。 Nm ブレーキパッド摩耗センサを、ブレーキキャリパに取り付けるボルト	*BA42.10-P-1002-10BA
3	ブレーキホース (4) を取り外します。		AR42.10-P-0026FR
4	ボルト (2) を取り外し、ブレーキキャリパ (1) を取り外します。	**取付け:** 新しいブレーキキャリパ (1) は事前に充填された状態で供給されるため、空にしないようにしてください。これを守らないと、ブレーキキャリパ (1) をエア抜きすることができません。 Nm ブレーキキャリパを、ステアリングナックルに取り付けるボルト	*BA42.10-P-1001-10BA
	点検		

5	ブレーキキャリパ (1) およびブレーキピストンのダストプロテクトスリーブの気密性と損傷を点検します。	不具合がある場合、 ↓ ブレーキキャリパ (1) を交換します。	
6	ブレーキディスクの摩耗と状態を点検します。	不具合がある場合、 ↓ ブレーキディスクを交換します。	AR42.10-P-0120FRX AR42.10-P-0230FRX
7	取り付けは取り外しの逆の順序で行います。		
8	ブレーキシステムのエアを抜きます。		AR42.10-P-0010FR
9	ブレーキパッド (3) がブレーキディスクに当たるまで、 ブレーキペダルを数回踏みます。	ブレーキペダルに、 確実な抵抗が感じられなければなりません。	
	点検		
10 AP	ブレーキ液リザーバのブレーキ液量を点検し、修正します。		AP42.10-P-4210B
11 AP	ダイナモメータ上でブレーキテストを実行します。		AP42.00-P-4290BA

フロントアクスルブレーキキャリパ

番号	名称			モデル 290
BA42.10-P-1001-10BA	ブレーキキャリパを、 ステアリングナックルに取り付けるボルト	M12	Nm	120

フロントアクスルブレーキキャリパ

番号	名称	モデル 290
BA42.10-P-1002-10BA	ブレーキパッド摩耗センサを、ブレーキキャリパに取り付けるボルトNm	8